



# 流通BMS<sup>®</sup>探訪



2010. 4. 9

No.5

## 目次

東海コープ事業連合の導入事例	1
トピック 流通 EDI 入門講座他 開催のご案内	4

今回の流通 BMS 探訪では、前号に続き生活協同組合を取り上げました。東海コープ事業連合は、3つの会員生協組合員の願いを実現するという目的でつくられた事業連帯の組織です。流通 BMS を導入し、会員生協へもその効果が波及している事例です。

## 東海コープにおける流通 BMS 導入事例 ～「連帯の力」を最大限に発揮して～

一まず、東海コープさんの事業内容についてお伺いします。

### 【根崎】

東海コープ事業連合は、東海3県下で活動する、コープぎふ、コープあいち（＝旧めいぎん生協、みかわ市民生協）、コープみえ、の3つの会員生協を通じて組合員の願いを実現するという目的で作られた組織です。組合員のくらしの向上に役立つ事業の実現を目指しています。

事業内容として大きくは2つ、共同購入事業と店舗事業があります。共同購入事業では、共同購入商品の商品案内書・企画づくり、商品の仕入れ・開発、物流事業、情報システム事業・品質管理業務・商品検査業務、受注業務などに取り組んでいます。

一方店舗事業では、店舗に置く食品・菓子・雑貨・冷凍食品商品の仕入れ、企画、物流、情報システム事業などに取り組んでいます。

事業の規模を表す事業高は、会員3生協への供給高合計が約972億円、東海コープ出荷高が704億円となっています。（2008年度）また、職員数は2009.3末で職員195名、パート・アルバイトさんなど512名に働いて頂いています。

一流通 BMS 導入の狙いとその背景についてお聞かせください。

### 【根崎】

第一の目的は、商品取引を電子化し、取引先の皆さんと私どもの商品取引に関連する「業務効率」を高めることにありました。

その中で、流通 BMS はすでに流通業の中で導入が進められ、私どもの取引先さんの間でも、他の小売業の皆さんとの取引ですでに利用しておられる取引先さんもあるという点、また商品取引・物流などにおいて運用する中で、将来お互い業務効率の向上ができる可能性が高い、などの点から、流通 BMS への対応を含めた仕組みを採用することにしました。



東海コープ事業連合  
経営企画本部 情報システム部  
部長 根崎 周一氏

一流通 BMS の稼動時期と導入方法をお伺いします。

【根崎】

流通 BMS を導入・稼動させたのは、昨年（2009年）の8～9月にかけてです。最近新しい仕組みに替えたばかりでしたので流通 BMS と、Web-EDI と両方稼動しています。卸さんに対しては、どちらを使用されるか希望を取った上で接続して頂いています。比較的大きな卸さんは流通 BMS で取りに来られ、小さな卸さんは Web-EDI を使用されています。

一取引先数と接続状況についてお伺いします。

【根崎】

取引先数としては、450社ぐらいあります。生鮮関係はなかなか EDI 化が難しいので、EDI に乗れる対象としては400社ぐらいと考えています。切替え以前は VAN を使用していました。切替え前の時点では約200社ぐらいが EDI で接続されていたので、まずその電子化されている200社を流通 BMS と新しい Web-EDI に切替えて頂くよう進めています。

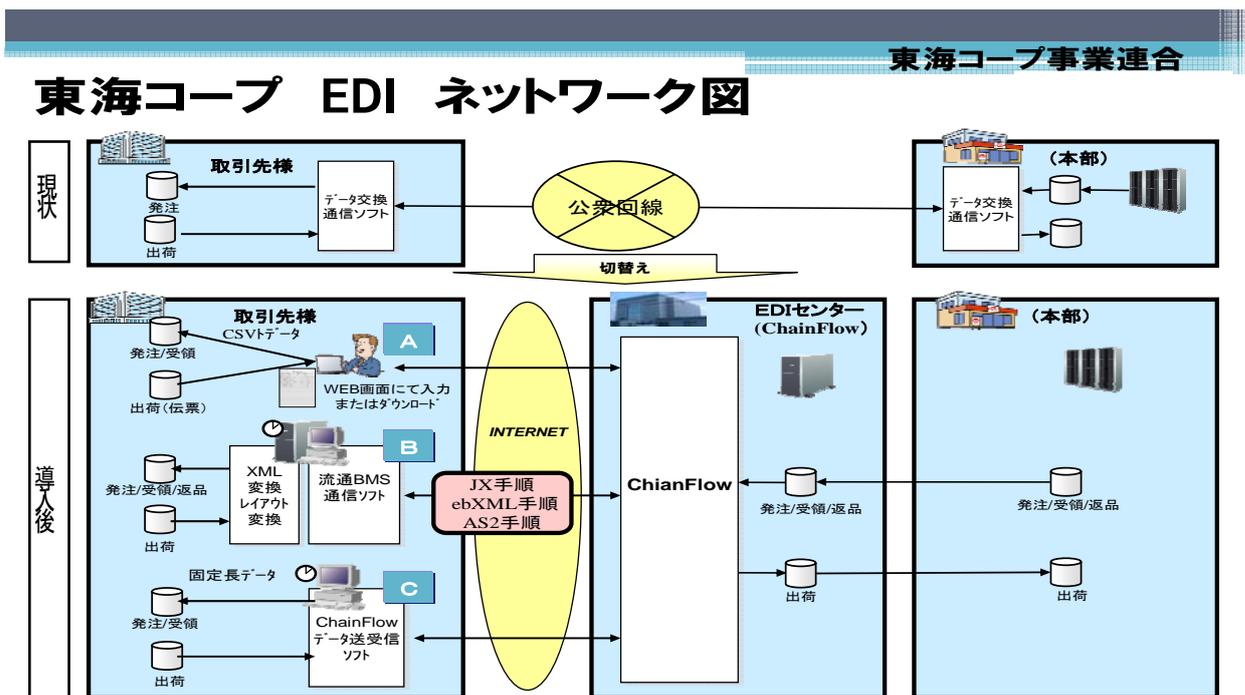
◎接続数は以下のとおり（2010年3月末時点）

＜事業連合取引社数＞	：約 450 社（取引 ID 単位 取引先別重複含む）	
＜取引内訳＞	流通 BMS：33 社	Web-EDI 自動連携：48 社
	Web-EDI：297 社	その他 FAX 等：約 70 社

一導入の形態についてお伺いします。

【根崎】

従来の公衆回線を使用した EDI から、流通 BMS と Web-EDI の2つのインターフェイスを持つネットワークに切替えました。流通 BMS 対应手順としては、JX 手順、ebXML、AS2 について対応できるようにしています。



—導入の効果についてはいかがでしょうか。

【根崎】

流通 BMS の導入効果は、小売よりも卸さんに大きい効果が出ると考えています。卸さんの業務改善に繋がると思います。

また、流通 BMS になると物流情報についても EDI 化されるので、それに伴う効率化も期待しています。物流情報がやりとりできると卸さん側のハンドリングも変わり、それによる物流効率化もできると考えています。

—物流効率化についても期待されているのですね。

【根崎】

そうです。店舗業務については卸さんの物流センターから納品して頂いていますが、無店舗業務については、東海コープ側で物流センター（TC）を持ち運用しています。これから流通 BMS を利用して物流業務も合理化できるのではと期待しています。

—流通 BMS の評判はいかがですか。

【根崎】

流通 BMS への苦情は聞こえてきません。新しい発注になったと捉えられていると思いますし、また卸さんも既に他の小売さんとの間で、流通 BMS 接続を実施されているところもあり、今回の東海コープからの導入申し入れに対して、抵抗感が少なかったようです。

そういう意味では、卸さん側の流通 BMS 対応が進み、小売に対して「流通 BMS へ切替えても大丈夫ですよ」言える環境になると、小売も切替えやすいと思います。

—導入にあたってご苦労されたところはどのような点でしたか。

【根崎】

取引先の皆様のご協力により、システム面では大きなトラブルもなく移行を進めることができたと考えていますが、開発工期が短期間であったことから、流通 BMS 連携の取引先との接続において、インターフェイス部分で開始当初、一部個別要件への対応・対策に苦戦した面や、運用取引先に混乱を招いた面がありました。

また、移行について、短期間で 400 社近くの取引先に移行をお願いしました。取引先の皆さんへの案内から、システム開発、移行作業までタイトなスケジュールであり、かつ慎重に進める必要があり、緊張した業務期間が続きました。

—今後の予定についてお伺いします。

【根崎】

2010年3月末現在、取引先の皆様のご協力により、378社（取引 ID 数）を新 EDI に移行でき、取引の電子化を進めることができました。

物流業務についても、計画では 2012 年以降、物流センターの統廃合を計画していますが、その中で、取引先の皆さんとともに電子取引化、中でも流通 BMS を活用して商品取引に関わる効率的な運用を進めていきたいと考えています。

—本日はどうもありがとうございました。

（聞き手：流通システム標準普及推進協議会 上級研究員 新宮 徹也）

## トピック リニューアル 流通 EDI 入門講座他 開催のご案内

### 1. 流通 EDI 入門講座 (無料)

開催日程 : 2010年4月22日(木) 13:30~16:30 受付開始: 13:00~  
開催場所 : (財)流通システム開発センター(定員約60名)(無料)  
講座概要 : 流通業界の特徴と流通システム標準の歴史と現状を説明  
→統一伝票、データ交換(EOS/EDI)、流通VAN、標準コード、J手順から  
流通BMS策定までの背景などについて、初心者の方々に分かり易く説明。  
受講対象者: これから流通業のシステムを担当される皆様、  
小売業、卸売業、商品メーカー、システムベンダーなど  
申し込み制: <http://www.dsri.jp/ryutsu-bms/event/edi.html>  
次回は2010年5月13日(木)13:30~16:30 場所: 大阪(AP大阪)で開催します。

### 2. 流通 BMS 講座 (導入編) (無料)

開催日程 : 2010年5月20日(木)13:30~17:00/受付開始: 13:00~  
開催場所 : (財)流通システム開発センター(定員約60名)(無料)  
講座内容 : 流通BMS導入時の検討項目、自社業務運用と流通BMSの項目との関連  
について説明。  
受講対象者: 流通BMSの導入を検討しているユーザー企業の現場部門、システム部門の  
方々、及びユーザー企業をサポートするSI企業やコンサルタントなど。  
申し込み制: <http://www.dsri.jp/ryutsu-bms/event/event01.html>

### 3. 流通 BMS 講座 (システム設計編) (無料)

開催日程 : 2010年6月17日(木)  
開催場所 : (財)流通システム開発センター(定員約40名)(無料)  
講座内容 : 流通BMSの導入、環境設定を自ら行う方に演習・理解度確認を通して実践的  
に説明します。マッピングシートと通信パラメータ協定シートを使用した演  
習があります。  
受講対象者: 流通BMSを導入されるユーザー企業のシステム部門のご担当者、流通BMS  
対応のシステム構築を請け負うSI企業の方々など。  
申し込み制: <http://www.dsri.jp/ryutsu-bms/event/event01.html>



### 流通 BMS 探訪 No.5

発行: 2010年4月9日  
発行人: 流通システム標準普及推進協議会(流通BMS協議会)  
住所: 〒107-0052 東京都港区赤坂7-3-37 プラズ・カガ  
財団法人 流通システム開発センター内

電話 03-5414-8505

FAX 03-5414-8513

流通BMSのロゴマークは(財)流通システム開発センターの登録商標です。  
(登録第5270226号)

お問い合わせは協議会のホームページ(下記)からお願いします。  
<http://www.dsri.jp/ryutsu-bms/>